

原発ゼロ長野県連絡会 News

第31号 2017.1.30

NO! Nuclear
原発
なくせ!

事務局 〒381-0034 長野市高田276-8 長野県労連内 Tel (026) 223-1683 Fax (026) 227-1783
ホームページ <http://kenrouren.assrv.com/genpatsu0/> mail: krn@mx2.avis.ne.jp

県下各地から 70名が参加 日本列島は地震・火山の巣



1月29日（日）、長野市・高校会館大会議室で学習交流集会を開催しました。予想以上に参加が多く、70人と会場一杯でした。

主催者を代表して田澤洋子さん（原発に頼らない未来を創ろうプロジェクト代表）があいさつ、原発がないと電気が不足すると思っている人はいない。でも原発をなくす運動を続けるには固い意志と学習が必要です。何故原発があつてはいけないのか？学習しましょう！と呼びかけました。

「日本の地下で何が！地震・火山と原発」と題して、新潟大名誉教授の立石雅昭氏から講演をうけました。スライドを使って、日本列島はその地球史的・地理的位置から地震・火山が避けられない状況であることがよくわかりました。

しかも現在はその活動期にあると。熊本地震もあるていど予測されていた。そして世界で最も高い密度で原子力発

電所が立地し、稼動している。まさに「命よりお金が優先されている」状況です。原子力規制委員会の、安全については過小評価しすぎていると指摘。また原発ゼロと新潟知事選にもふれ、野党と市民が共闘すれば私たちの願いが実現する体験をしたと。

二つ目の講演は、県環境エネルギー課の出前講座（神田大介課長補佐）。県内の自然エネルギーの普及の実態と今後の方向について短時間で説明していただきました。

各地の活動交流をおこない、今年で6回目となる3・11行動を県下各地で広げようと思統一しました。



新しく連絡会事務局を担うことになった服部寿一（ヒサイ）県労連副議長から当面の行動提起がありました。

①6回目となる3・11行動を成功させよう

松本地域：3/12 13:30～松本駅前

長野地域：3/11 14:00～南千歳公園

佐久地域、飯水岳北地域、上伊那地域など

3/11に実施準備しています

②「とめよう！原発再稼動 かえよう！福島切り捨て」署名に取組もう

最終締切：5月末

③新聞意見広告を成功させよう

団体で名前が掲載は1月末締切ですが

2月まで募集していますので賛同金の協力を！

④引き続き原発ゼロを目指す行動を
続けよう

つながろうフクシマ
広げよう脱原発
止めよう再稼動
6年目の3・11～サラバ原発
長野県大行進 in 松本

とき 2017年3月12日（日）

ところ JR松本駅お城口広場 雨天決行

どなたでも参加できます！



資料が足りなくなり、ご迷惑をおかけしました。

これまで県労連副議長の菅田が担当でしたが、9月から鈴木がショートトリリーフ、2月から服部副議長が担当になりました。

学習会で、地質学の大しさを改めて感じました。地震・火山の多い日本列島に住む国民は、もっと地質学を学ぶべきと痛感しました。それこそ原発はあり得ない。

今年の3・11行動の予定をお知らせ下さい。事務局で一覧をつくります。チラシができ次第送ってください。できればメールでお願いします。ホームページにも掲載します。

メールは krn@mx2.avis.ne.jp 服部まで